

カーボンニュートラルへの挑戦 <⑦>



SDGs 達成を積極的に推進

大阪タオル工業組合（泉佐野市）

泉州タオルは、特徴である後ざらし製法(※)によって他の製法と比べ製造工程で使用する水やエネルギー消費量を抑えている。製造工程の排水は丁寧に濾過してから大阪湾へ放流。泉州タオルのベースである薄手のタオルは洗濯時にも水の使用量が少なく済み、家庭でも自然環境を守ることにつながる。

タオルづくりに欠かせない水を育む地球の未来のために、泉州タオルブランドネーム 1 枚につき 3 円を日本ユニセフ協会などへ寄付。また、地元の和泉山脈は水源を育む山々であり、手入れ不足などの課題がある。その解決の一步として、展示会出展時は、同山脈から切り出された木材を展示用什器に取り入れる。

自然環境に配慮した「後ざらし製法」で、暮らしに寄り添うタオルづくりを目指す。

※タオルを織り上げた後に不純物を除去・漂白する工程で、綿本来の柔らかさと高い吸水性を引き出す製法

（泉佐野商工会議所）

詳細はこちら▶

